

## 事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:消防団車庫新築工事				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市青柳612番地4				
補助事業の成果の目標	<p>消防組織法第九条において、市町村に消防団の設置が義務付けられており、消防団の活動拠点である消防団車庫は、市町村が整備する必要があることから、建築基準法施行令改正前(昭和56年改正)の耐震基準の建物で老朽化した消防団車庫を建替え、耐震性を高めた消防団拠点施設として整備することで、災害発生時の地域防災拠点として活用し、地域住民の安心・安全の確保に資することを目的とする。</p> <p>【参考指標】          該当車庫に配置している団員の令和4年度出動件数及び出動延べ人員数          出動件数 239件          出動延べ人員数 1499名</p>				
補助事業の内容	消防団車庫新築工事 186,35㎡				
補助事業の始期及び終期	令和4年度				
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
	事業費	円 —	円 56,704,000	円 —	円 56,704,000
	交付金額	円 —	円 30,000,000	円 —	円 30,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕          消防団員に聞き取り調査をした結果、消防団車両が2台格納でき、車庫前にスペースも確保されており、また、間口も広くとられているため、車庫入れを安全に行うことができるようになった。また、車庫内も広くなり、外にLED作業等が付いているため、夜間でも消防ポンプ自動車の車両点検等が行い易くなった、との意見が聞かれた。</p> <p>市としては、消防団車庫の耐震性が保たれ、倒壊による危険性がなくなったことにより、地域住民が安全に過ごせており、防災拠点としての安心感を地域住民に与えることができていると判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕          建物入り口付近に、防衛省の交付金を活用して整備した旨を掲示。          基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に掲載。          狭山市公式ホームページ          狭山市消防団ホームページに掲載予定(令和5年8月中)。          狭山市消防団広報誌(令和5年10月発行予定)に掲載予定。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:幹第48号線				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市 大字堀兼・大字上赤坂 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に舗装補修工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は、主要地方道所沢狭山線から県道所沢堀兼狭山線を結び、隣接する人間市や川越市へ抜ける幹線市道として重要な路線である。</p> <p>また、近年では、交差する草刈街道が川越狭山工業団地の物流ルートとして利用されることにより大型車交通量の増加したことに伴い、当路線の交通量も増加したことから、舗装劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、補助事業を活用し舗装を打換えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 対象地区人口/世帯数(14,497人/6,850世帯) ※令和4年4月1日現在</p>				
補助事業の内容	<p>工事延長:L=300m 道路幅員:W=4.9~8.0m 舗装補修</p>				
補助事業の始期及び終期	令和4年度から令和5年度				
事業費及び交付金額			令和4年度	令和5年度	計
	事業費	円	円	円	円
	交付金額	円	円	円	円
	-		28,299,700	30,000,000	58,299,700
	-		23,000,000	25,000,000	48,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 今年度より事業が開始し、地域住民等に対するアンケートの結果、騒音及び振動等が改善され、満足しているとの声が寄せられたこと、また継続的な整備要望もあり、補助事業への好印象と期待が得られたことから、成果目標が達成できたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 工事のお知らせ文書及び工事看板による周知に加え、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに防衛省交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今年度より2年間の事業であり、路線として劣悪な路面状況が続くため、舗装の打換えにより地域の環境改善に努める。</p> <p>アンケートの意見では、飛び石や通行止めに関して等、工事期間中の配慮についての指摘があった反面、交付金事業に対して好印象で継続的に実施することを望む声もあり、現在の事業方針が好意的に評価されていると判断できる。</p> <p>については、今後も地域住民の意見・要望を把握しながら周辺への影響を考慮した上で事業を推進し、地域住民の生活環境の向上を図る。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:幹第18号線				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市 大字水野 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に舗装補修工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は、主要地方道所沢狭山線から県道所沢堀兼狭山線を結び、隣接する入間市や川越市へ抜ける幹線市道として重要な路線である。</p> <p>また、近年では、交差する草刈街道が川越狭山工業団地の物流ルートとして利用されることにより大型車交通量の増加したことに伴い、当路線の交通量も増加したことから、舗装劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、補助事業を活用し舗装を打換えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 対象地区人口/世帯数(34,611人/15,882世帯) ※令和4年4月1日現在</p>				
補助事業の内容	<p>工事延長:L=307m 道路幅員:W=6.0~8.2m 舗装補修</p>				
補助事業の始期及び終期	令和3年度から令和5年度				
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
	事業費	31,683,300円	21,511,600円	13,060,000円	66,254,900円
	交付金額	27,000,000円	21,000,000円	9,000,000円	57,000,000円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 令和3年度より事業が開始し、地域住民等に対するアンケートの結果、騒音及び振動等が改善され、満足しているとの声が寄せられたこと、また継続的な整備要望もあり、補助事業への好印象と期待が得られたことから、成果目標が達成できたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 工事のお知らせ文書及び工事看板による周知に加え、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに防衛省交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>令和3年度より3年間の事業であり、路線として劣悪な路面状況が続くため、舗装の打換えにより地域の環境改善に努める。</p> <p>アンケートの意見では、路面の凹凸が解消され、車両等の走行にストレスを感じなくなった。交付金事業に対して好印象で継続的に実施することを望む声もあり、現在の事業方針が好意的に評価できると判断できる。</p> <p>ついで、今後も地域住民の意見・要望を把握しながら周辺への影響を考慮した上で事業を推進し、地域住民の生活環境の向上を図る。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小学生学習支援事業				
補助事業者名	狭山市長				
実施場所	狭山市内小学校(15箇所)				
補助事業の成果の目標	<p>本市における学力向上に関する課題の一つに算数の基礎的・基本的な知識及び技能の定着がある。そこで外部の専門講師の指導を通して、児童の学校外の学習時間の確保や学習指導の補完、家庭学習の習慣化を図る。</p> <p>また、分からないところや学習のつまづきを解決し、算数への自信をつけさせることで、児童の学習への興味・関心をさらに高め、基礎的・基本的な知識及び技能の定着や学習意欲の向上など、参加する児童一人一人の確かな学力の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 市内小学校第4学年の児童数(1,074人:令和4年4月1日現在)</p>				
補助事業の内容	学校の授業以外で児童が学習する機会を設け、児童の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くすため指導・支援をしていく。				
補助事業の始期及び終期	令和元年度から令和5年度				
事業費及び交付金額( )は総事業費		令和3年度以前	令和4年度	令和5年度	計
	事業費	円 18,918,108 (21,777,888)	円 3,361,600 (4,968,612)	円 5,000,000	円 27,279,708 (31,746,500)
	交付金額	円 18,300,000	円 2,200,000	円 2,000,000	円 22,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 算数の授業内容が分かるかについては、事前事後アンケートの結果において「よく分かる」「だいたい分かる」と回答した児童が65.9%から83.0%に向上、算数科の勉強に自信があるかについては、事前事後アンケートの結果において「自信がある」「だいたい自信がある」と回答した児童が50.3%から72.8%に向上した。 事前事後アンケートの結果の変容から、参加した児童は本事業で分かる喜びを味わい、算数に対する意欲や自信が向上したことが伺える。 事前事後テストの変容をみると、事前テストの平均点が77.4点、事後テストの平均点が91.6点となり、14.2点向上した。授業以外の1日の学習時間についても、30分以上取り組んでいる児童が事業前の72.6%から事業後78.9%に増加し、学習時間が30分に満たない児童は、事業前27.4%から事業後21.1%に減少した。 保護者のアンケートからも、「お子さまは算数の勉強に自信がありますか」において「とても自信がある」と答えた保護者が事前は38.9%だったのに対し、事後は82.3%に増えており、それに対し、「自信がない」「あまり自信がない」と答えた保護者は61.1%から17.7%へと激減した。このことから、学習支援事業で満足感を得られた児童の姿が、帰宅後に保護者にも伝わったことが考えられ、保護者の本事業に対する肯定的な評価につながったと考えられる。 少人数で指導・支援を行う小学生学習支援事業により、児童の学習意欲がこれまで以上に高まり、分からないところや学習のつまづきを無くすことができたと考えられる。また、算数への自信が付き、一人一人の学力の定着と学習の習慣化が図られたと判断する。児童の学習の状況によっては、発展的な課題も提供することで、どの児童も達成感を得られるように工夫したことも、児童、保護者の満足度につながったと考えられる。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 児童及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無し				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し				

## 事業評価書

補助事業名	医療に関する事業:予防接種助成事業								
補助事業者名	狭山市長								
実施場所	狭山市内医療機関								
補助事業の成果の目標	<p>予防接種法に規定されている麻疹(はしか)・風疹(三日はしか)は感染力の強い疾病であり、また、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風は感染すると重篤になる場合が多い疾病である。これに対して、最も有効な対策は発生の予防であり、その手段として、予防接種により免疫を獲得することが重要とされている。</p> <p>本市では、予防接種に要する費用を負担することなく、接種を受けられる環境を整備するとともに、市民に向けて適切な情報提供を行っており、対象者の9割以上が接種を受けている状況である。そこで、本事業を継続して実施し、ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻疹(はしか)、風疹(三日はしか)、破傷風の発生及びまん延の防止に取り組むことで、市民の健康増進を図る。</p> <p>【参考指標】  令和4年度麻疹、風しん接種対象者数:1,863人(令和4年12月31日時点)  令和4年度四種混合(ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、破傷風)接種対象者:896人(令和4年12月31日時点)</p>								
補助事業の内容	ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎、麻疹、風しん、破傷風に係る予防接種費の助成								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成23年度から令和7年度 基金の処分:平成24年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	23	62,216,000				62,216,000		62,216,000	
	24	72,468,000				72,468,000	40,000,000	94,684,000	46,154,905
	25	56,009,000				56,009,000	25,000,000	125,693,000	26,070,500
	26	25,000,000				25,000,000	25,000,000	125,693,000	25,407,839
	27	10,000,000				10,000,000	24,000,000	111,693,000	24,437,997
	28	29,749,000				29,749,000	24,000,000	117,442,000	24,657,396
	29	10,086,000				10,086,000	23,000,000	104,528,000	23,485,058
	30	1,900,000				1,900,000	40,000,000	66,428,000	52,145,890
	1	10,000,000				10,000,000	42,000,000	34,428,000	53,716,461
	2	28,842,000				28,842,000	50,000,000	13,270,000	53,424,066
3	76,330,000				76,330,000	49,500,000	40,100,000	49,854,871	
4	68,473,000				68,473,000	47,000,000	61,573,000	47,579,697	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕  令和4年度予防接種助成事業について、接種対象者数に対し麻疹・風しんは9割、四種混合は8割以上が予防接種を受けていることから、市民の健康増進が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕  健康カレンダー、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:中学生学習支援事業								
補助事業者名	狭山市長								
実施場所	狭山市内中学校(8箇所)								
補助事業の成果の目標	<p>本市の中学生の学力は、平成25年度までは全国及び埼玉県の平均と同程度であったが、平成26年度及び平成27年度については下回ってきているという状況にあり、また、家庭学習の時間も全国及び埼玉県に比べ短いという結果が出ている。これらを踏まえ、中学生の確かな学力の定着及び向上が課題となっている。</p> <p>そこで、学校の学習指導を補完するとともに、家庭学習の励行を促すため、各中学校区毎に生徒が学校の授業以外で学習できる環境を整え、多くの生徒の参加を促す。これにより、生徒の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くしていくとともに、多くの生徒が家庭学習の習慣を身につけることで、参加する生徒一人一人の学力の定着及び向上を図る。</p> <p>【参考指標】 市内中学校の生徒数:3,413人(平成30年1月20日現在)</p>								
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の授業以外で生徒が学習する機会を設け、学習活動を支援する。</li> <li>・外国語語学指導助手の任用及び配置</li> </ul>								
補助事業の始期及び終期	<p>基金の造成:平成27年度から平成29年度 基金の処分:平成28年度から令和5年度</p>								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	16,106,000				16,106,000	0	16,106,000	0
	28	14,000,000				14,000,000	7,470,000	22,636,000	7,476,300
	29	14,000,000				14,000,000	6,500,000	30,136,000	6,775,054
	30	0				0	6,400,000	23,736,000	6,505,763
	1	0				0	7,000,000	16,736,000	7,233,818
	2	0				0	1,400,000	15,336,000	1,423,400
	3	0				0	5,000,000	10,336,000	6,160,660
4	0				0	5,500,000	4,836,000	6,726,835	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 夏季冬季集中講義については、延べ参加者数が2,594名(夏季1,945名、冬季649名)であり、令和3年度の延べ参加者数2,557名に対し、37名増加した。講義後のアンケートでは「授業は分かりやすかったですか」との質問に対し、7割以上が分かりやすかったと回答しており、「家庭学習の習慣が身についた」、「復習ができた」、「前より分かるようになった」等の意見が寄せられたことから、『分からないところや学習の躓きを無くしていくとともに、多くの生徒が家庭学習の習慣を身につけることで、参加する生徒一人一人の学力の定着及び向上を図る』という、本事業の目的に対する成果として捉えることができる。</p> <p>また、令和4年度から新たに1名の外国語語学指導助手を任用し、各中学校に12名の外国語語学指導助手を配置することで、1クラスあたりの平均年間授業時間が33.3時間から36.4時間に増となったことにより、英語教育の充実を図ることができた。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 生徒及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページに特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>								

事業の改善措置及び今後の対応	無
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無